

親子3人で英検1級



英検1級に合格した(左から)母親の由香子さん
と長男英志さん、長女知世さん。光田さん提供

何度も挑戦、休日10時間勉強…

清須市西堀江の光田さん親子三人がそろって、実用英語技能検定(英検)の1級に合格した。海外生活の経験者でも難関とされるレベルに到達した「英語ファミリー」は、「自分に合ったやり方で楽しく続け、毎日英語に触れることが大切」と語学力向上の秘訣を語る。

清須の光田さん そろって合格

光田家のおすすめ英語勉強法

- ・国内の話題で内容が分かりやすいため、NHKのニュースを英語で視聴する
- ・自分に合った方法を見つけ、短時間でも毎日継続する
- ・英検は最も点数配分の高いライティング(作文)に重点を置く
- ・1級の試験では語彙力も重要。勉強する中で分からない単語があれば、書き出して意味を調べる

長女知世さん(20)と上智大二年生と、小学生向けの英語講師を務める母由香子さん(48)は二〇一九年度に合格。長男英志さん(17)は清林館高校国際コース三年生は二〇年度に合格した。

英志さんは高校入学時、「中学中級程度」の英検四級しか持っていなかった。学校で実施する週一回、計約六時間の外国人講師による授業で英語力を向上。一

活で求められるレベルの英語を十分理解し、使える能力が求められる。一次試験は筆記とリスニング、二次試験は面接がある。面接では社会問題などのテーマから一つを選び、即興でスピーチをする。

公表されていた一五年度までの一級の合格率は一割程度。専門用語も多く、帰国子女や英語を母語にする人でも難しいという。三人とも高校時代に留学経験はあるが、一度では合格できなかった。

英志さんは高校入学時、「中学中級程度」の英検四級しか持っていなかった。学校で実施する週一回、計約六時間の外国人講師による授業で英語力を向上。一

国際系の大学を目指す英志さんは一級取得にも満足せず、「TOEIC(トイック)やTOEFL(トール)などの試験も受けた」と意欲的。「大学でもう一度留学に行き、将来は培った英語力を生かせる仕事に就きたい」と希望を語った。